



OPTEX

2022年12月期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2023年2月14日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2022年12月期決算発表のポイント

2022年度実績

- ・ **SS事業は海外向けの販売が堅調。IA事業は半導体・電子部品業界等への販売が好調。為替効果もあり、売上高は前年比で+19%と大幅増収。**
- ・ **売上原価率が1ポイント上昇したものの、販管費率が2ポイント低減し、営業利益は前年比で+36%と大幅増益。**

2023年度通期業績予想

- ・ **足元の引き合いは堅調を継続する見込み。主力事業で成長戦略を着実に遂行。高収益製品の販売強化等により、売上高600億円、営業利益75億円を目指す。**

1. 2022年12月期決算概要

2. 3カ年（2023-25年）の経営計画

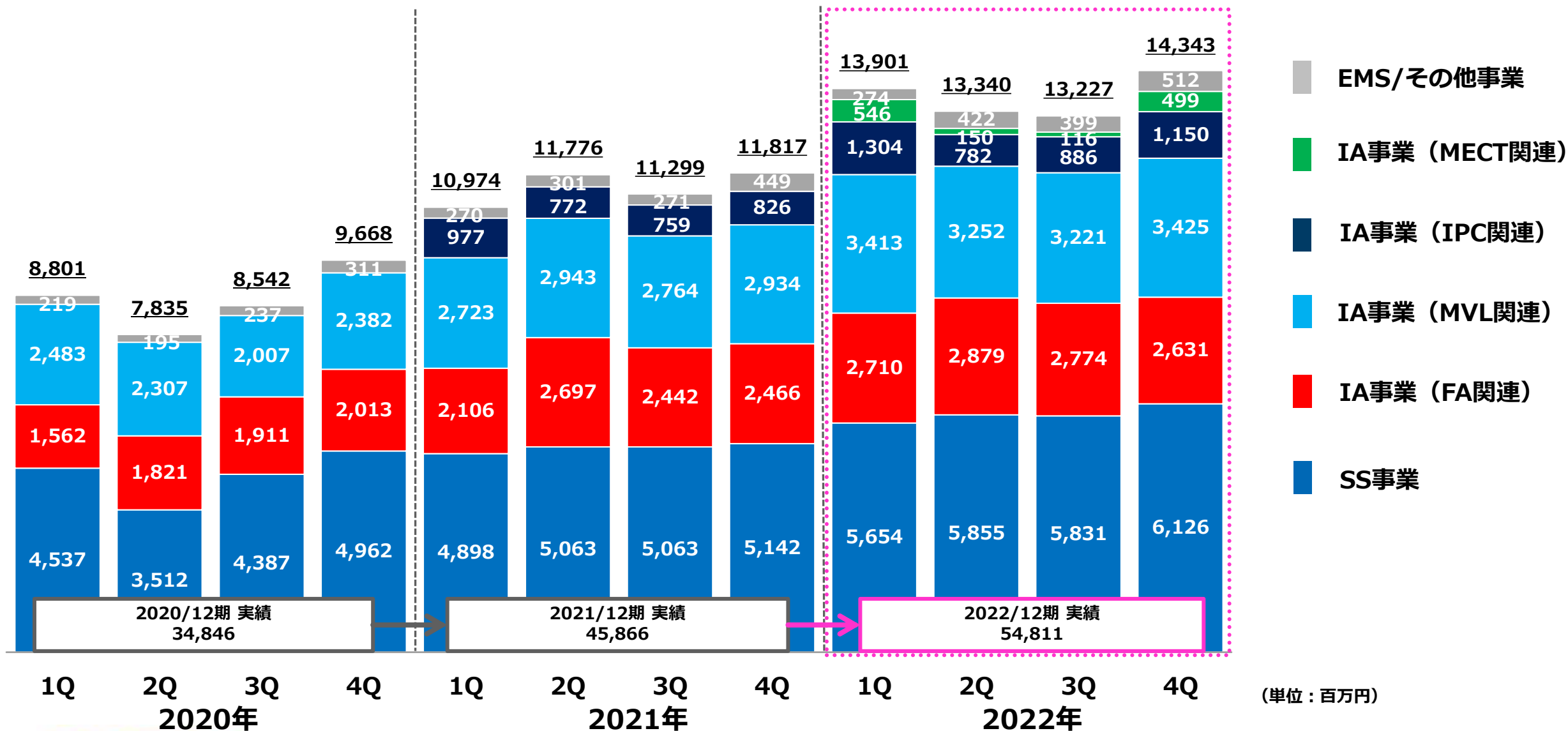
3. TOPIC

2022年12月期 連結決算総括

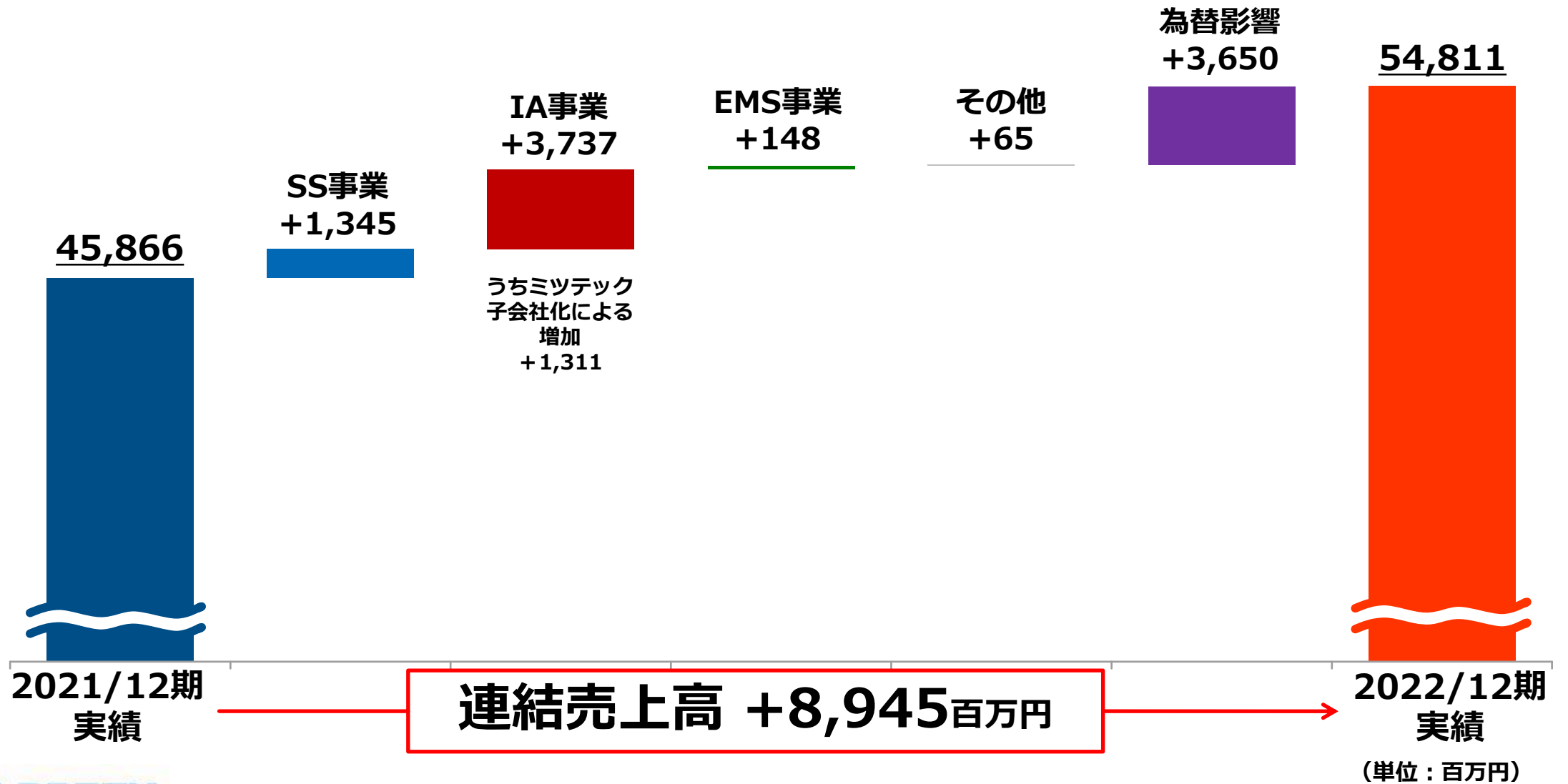
経営成績 (単位:百万円)	2021/12期実績	2022/12期実績	増減額	増減率
売上高	45,866	54,811	+8,945	+19.5%
営業利益 (営業利益率)	4,630 (10.1%)	6,303 (11.5%)	+1,673	+36.1%
経常利益	5,130	7,042	+1,912	+37.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,762	4,752	+990	+26.3%
1株当たり 当期純利益 (円)	104.18	133.73		

為替レート (円)	1USD	109.80	131.43
	1EUR	129.89	138.04

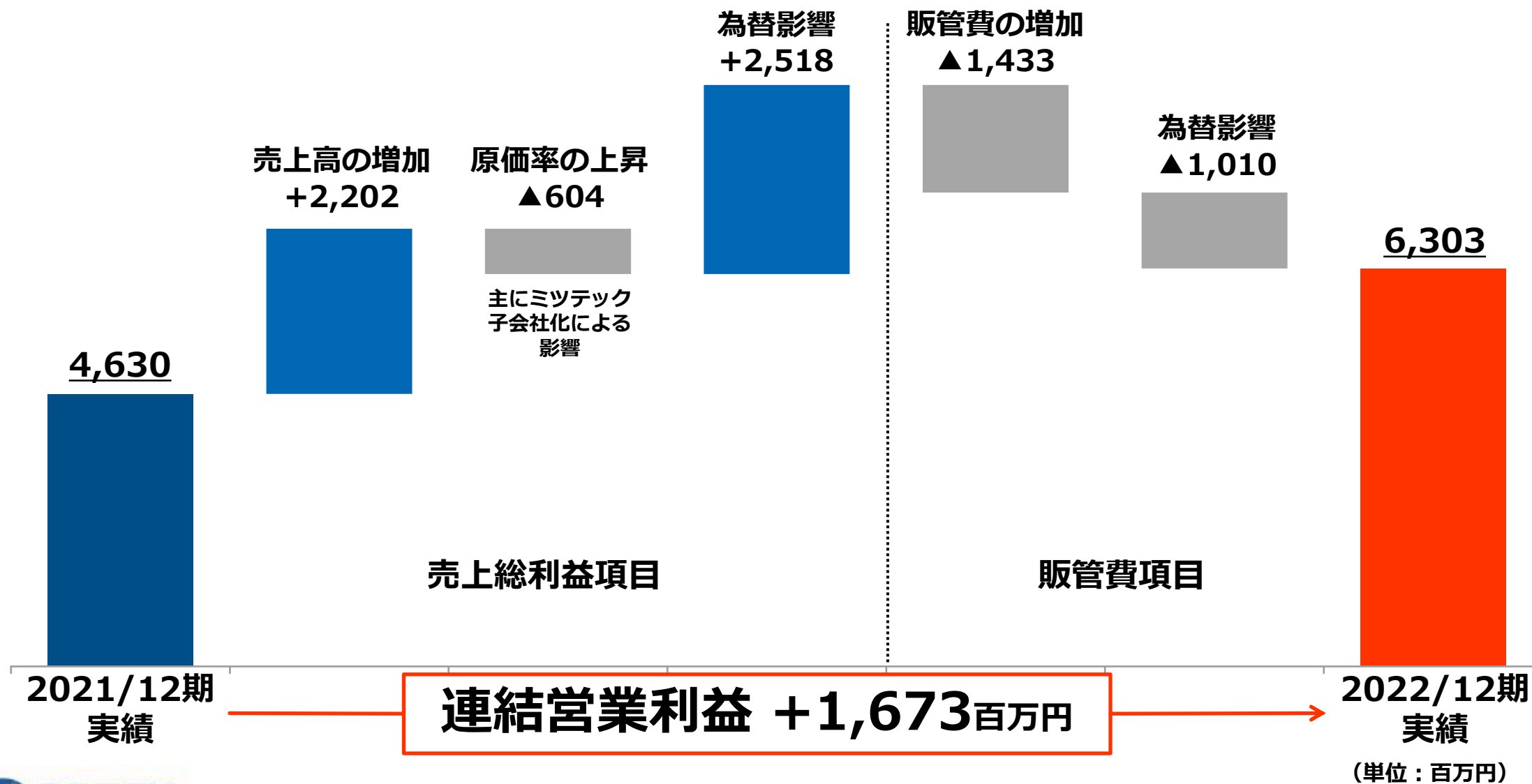
2022年12月期 連結売上高 四半期推移



2022年12月期 連結売上高 増減要因 (前年比)



2022年12月期 連結営業利益 増減要因（前年比）



2022年12月期 連結決算 セグメント比較

経営成績 (単位:百万円)	2021/12期 実績		2022/12期 実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	増減率	営業利益 (営業利益率)	増減率
SS事業	20,164	2,201 (10.9%)	23,465	+16.4%	2,869 (12.2%)	+30.3%
IA事業	24,409	2,700 (11.1%)	29,738	+21.8%	3,583 (12.0%)	+32.7%
EMS事業	756	310 (41.0%)	1,006	+33.0%	400 (39.8%)	+29.2%

セグメント・SS事業（防犯関連）



地域	2022/12期 業績のポイント
日本	<ul style="list-style-type: none"> 大型重要施設向けの案件獲得数が増加 警備会社向け屋外警戒用センサーの販売が堅調
米州	<ul style="list-style-type: none"> ダイレクトマーケティング戦略により、データセンター等の案件獲得数が増加 レーザースキャンセンサーの販売が好調
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 新規提携先への新製品販売が好調 ダイレクトマーケティング戦略により、インフラ施設等の案件獲得数が増加
アジア	<ul style="list-style-type: none"> インドで屋外警戒用センサーの販売が堅調 中国・東南アジアは、部品不足による製品供給の遅れにより販売が伸び悩み

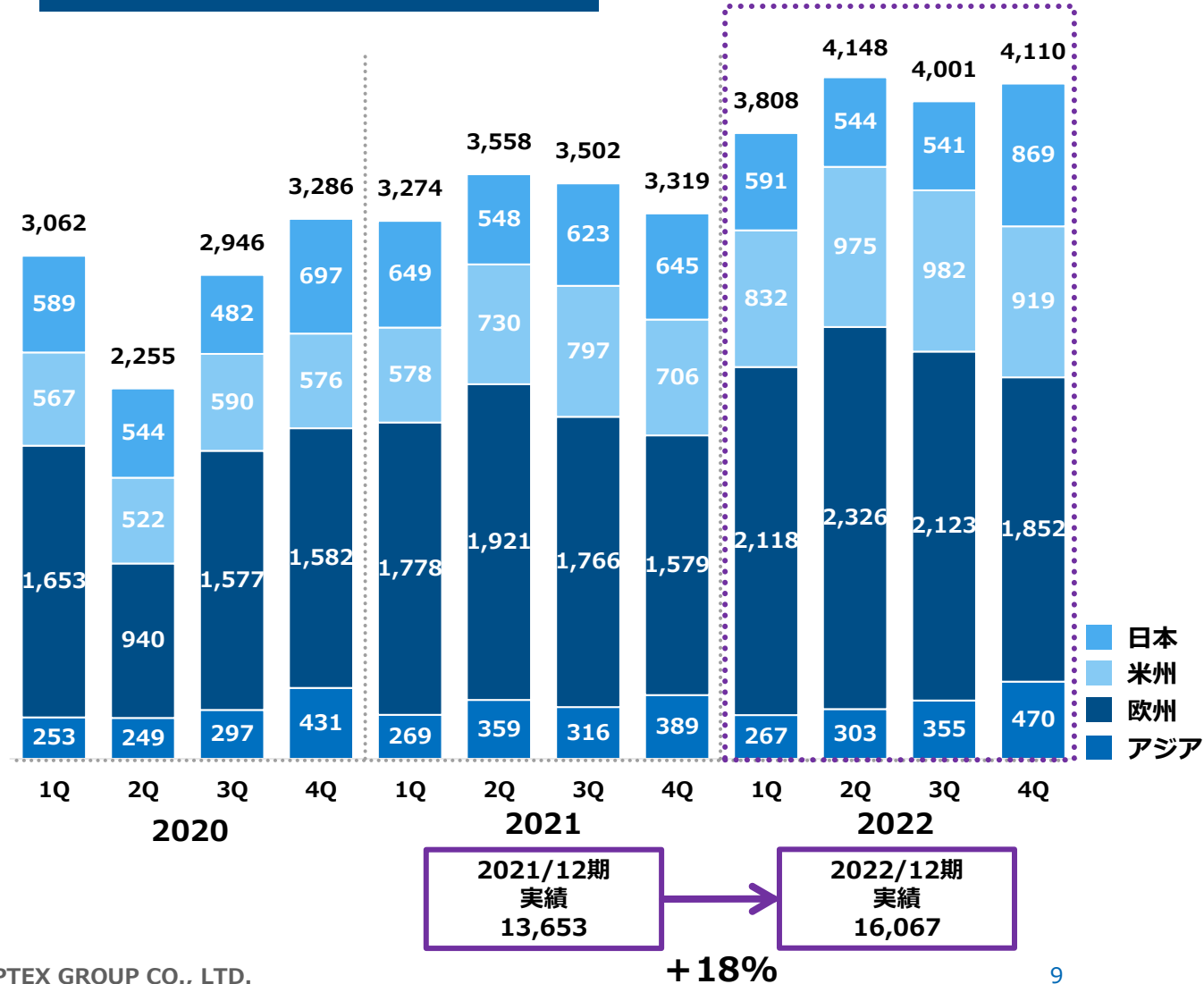


大型重要施設向けセンサー



カメラ付きセンサー

地域別・四半期売上高（単位：百万円）

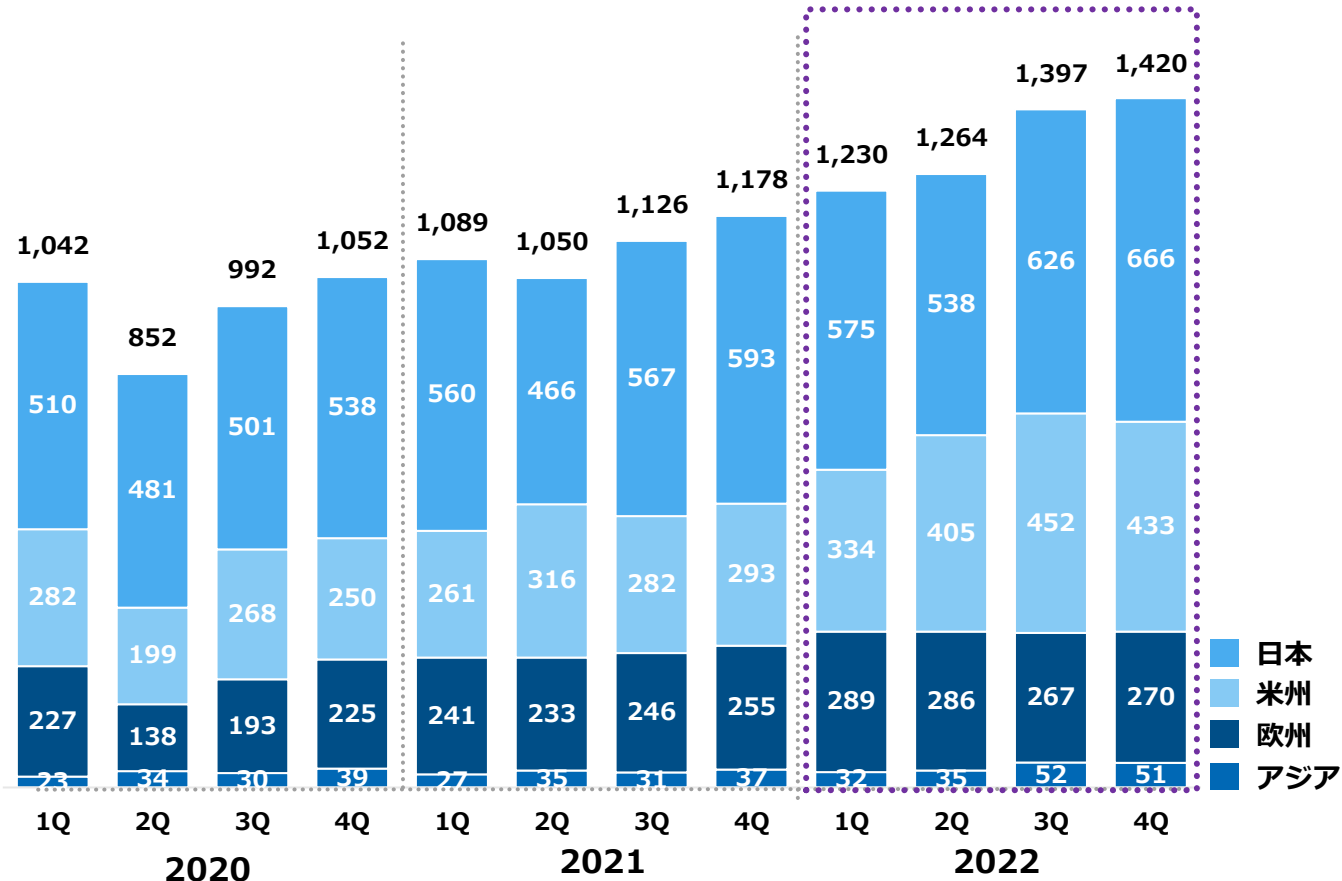


セグメント・SS事業（自動ドア関連）



地域	2022/12期 業績のポイント
日本	・ 安定した製品供給力が国内大手自動ドアメーカーから評価され、強い引き合いが継続
米州	・ 安定した製品供給力が北米大手自動ドアメーカーから評価され、旺盛な建築需要を取り込んだ
欧州	・ 安定した製品供給力が欧州大手自動ドアメーカーから評価され、強い引き合いが継続

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



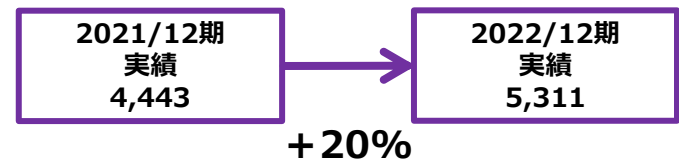
自動ドア用センサー



タッチスイッチ



シャッター用センサー

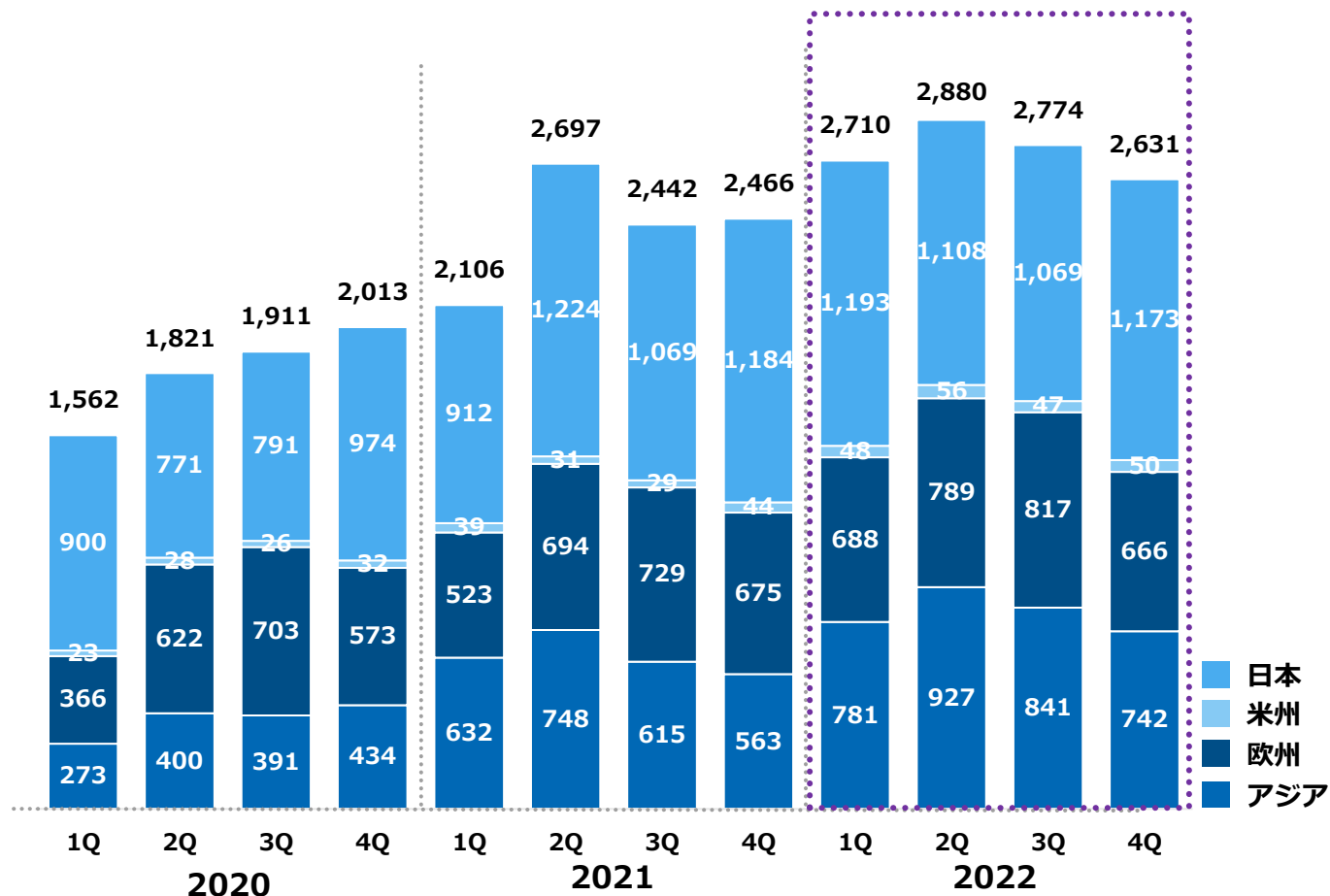


セグメント・IA事業（FA関連）



地域	2022/12期 業績のポイント
日本	・電気・電子・半導体関連投資向けの販売が好調
欧州	・電子部品向けの変位センサーの販売が好調
アジア	・中国で半導体・電子部品・二次電池等の設備投資需要により変位センサーの販売が好調

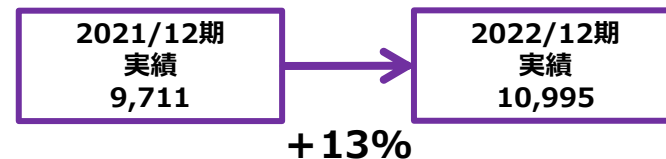
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



変位センサー



IO-Linkマスタ



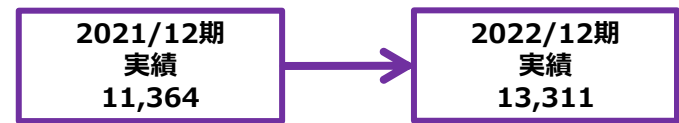
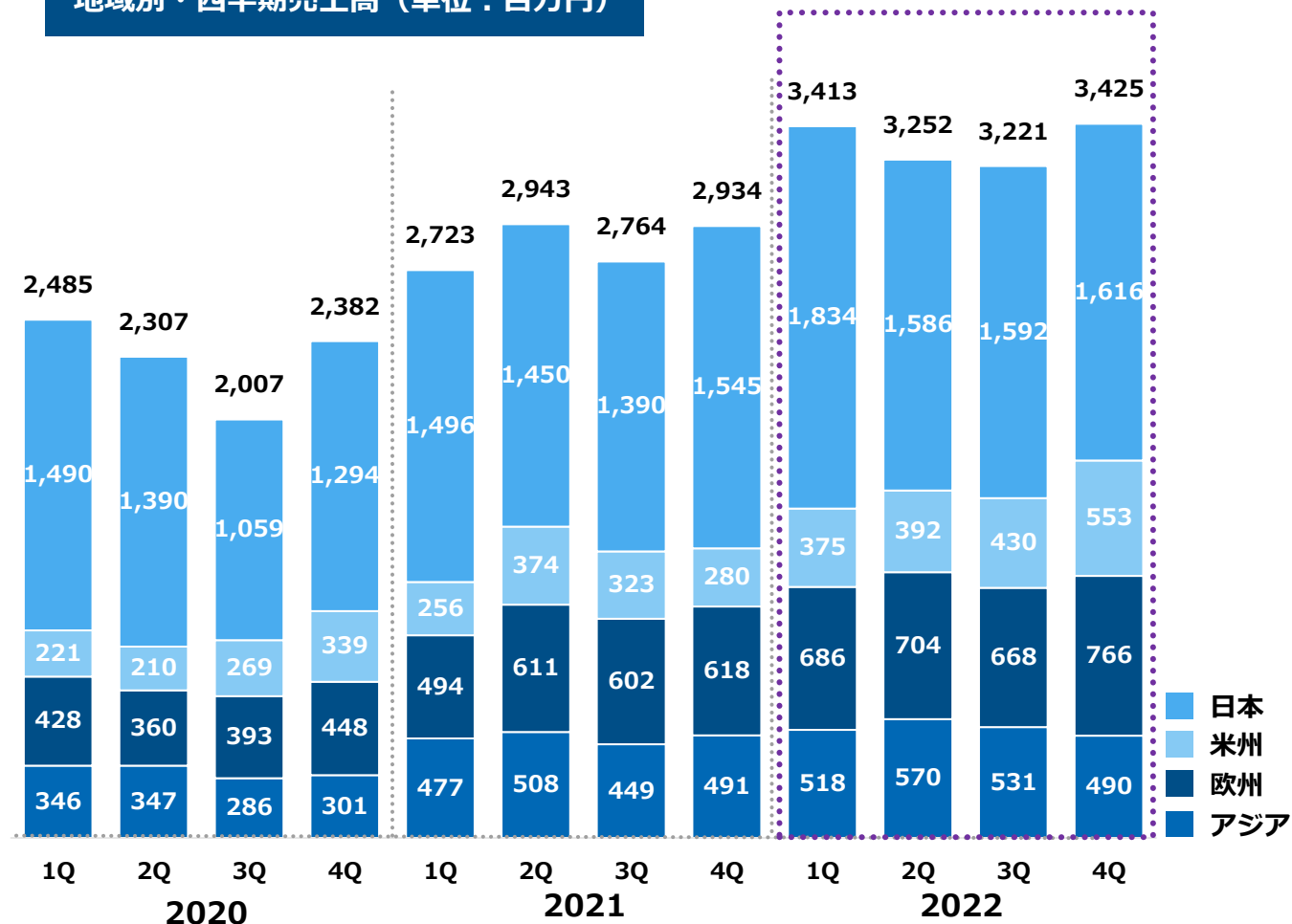
セグメント・IA事業 (MVL関連)

地域	2022/12期 業績のポイント
日本	・電気・電子・半導体向けの引き合いが強い
米州	・フランス子会社製品で物流業界向けシェア拡大
欧州	・フランス子会社製品で欧州の物流業界向けシェア拡大
アジア	・中国で半導体関連投資向けの販売が堅調



画像検査用LED照明

地域別・四半期売上高 (単位: 百万円)



セグメント・IA事業（IPC関連）

地域	2022/12期 業績のポイント
日本	半導体製造装置向け産業用PCの受注が好調

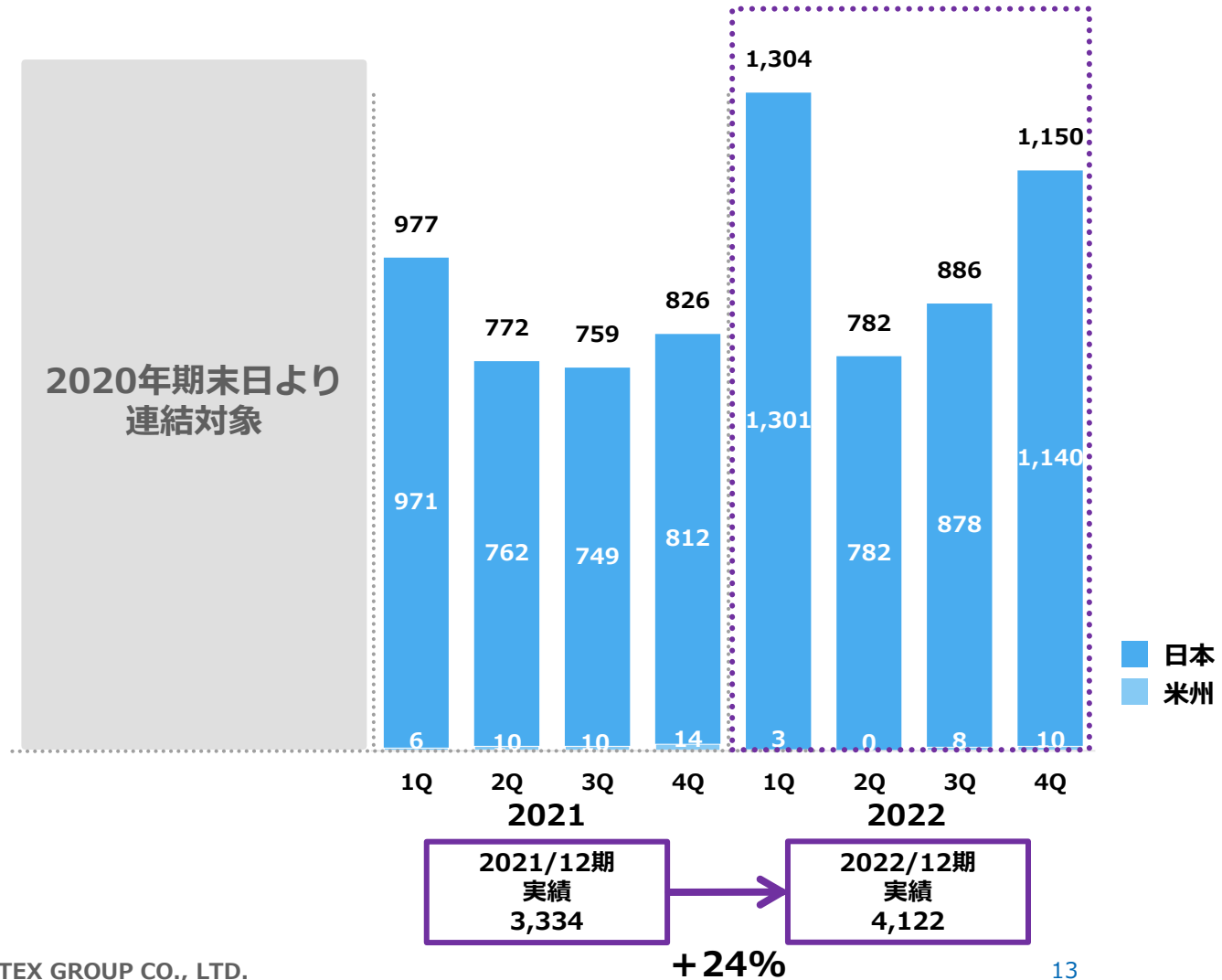


産業用コンピュータ



追尾用カメラ

地域別・四半期売上高（単位：百万円）

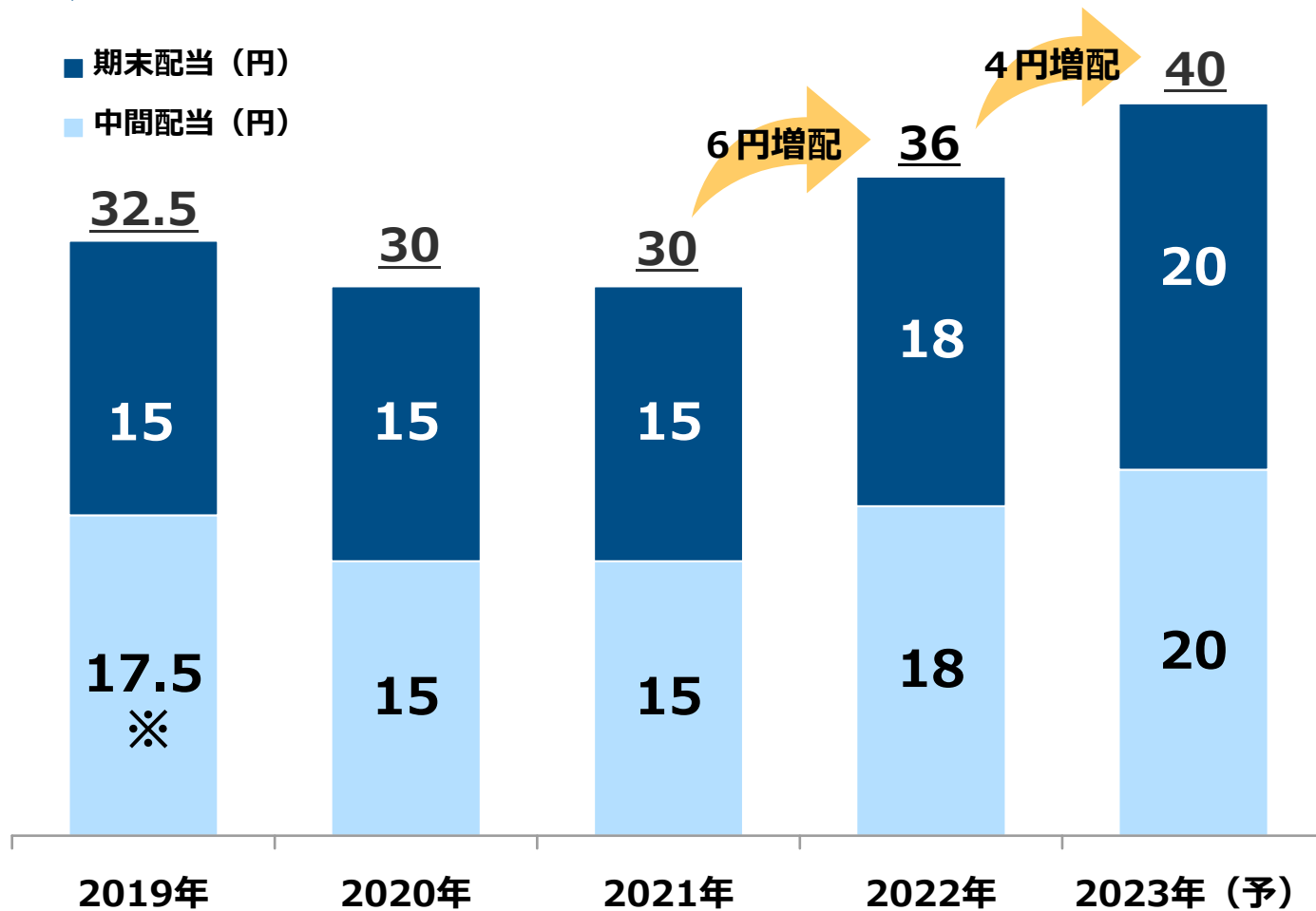


2023年12月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)		2022/12期 通期実績	2023/12期 通期予想	前期比
売上高		54,811	60,000	+109.5%
営業利益 (営業利益率)		6,303 (11.5%)	7,500 (12.5%)	+119.0%
経常利益		7,042	7,600	+107.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益		4,752	5,300	+111.5%
1株当たり 当期純利益 (円)		133.73	149.19	
為替レート (円)	1USD	131.43	135.00	
	1EUR	138.04	140.00	

株主還元

- 期末配当 (円)
- 中間配当 (円)



配当性向	54.1%	77.7%	28.8%	26.9%	26.8%
ROE	6.8%	4.3%	11.2%	12.8%	-

自己株式の取得 (実績)

	2018年	2019年	2021年
取得総額	15億円	10億円	10億円
取得株数	70万株	67万株	63万株

※創立40周年記念配当2.5円を含む

1. 2022年12月期決算概要

2. 3カ年（2023-25年）の経営計画

3. TOPIC

経営計画達成に向け成長戦略を推進中

既存事業の成長

システムソリューションを提供

SS事業（防犯関連）



2022年の成果

欧州の提携先向け新製品を
供給開始

北米でシステムの新規導入
社数及び登録件数が順調に
増加

SS事業（自動ドア関連）



2022年の成果

自動ドア遠隔監視サービスの
販売が増加し、
顧客の保守契約率向上に寄与

大型商業施設・飲食店・
不動産など、オムニシティ
活用事例の多様化が進む

IA事業（FA関連）

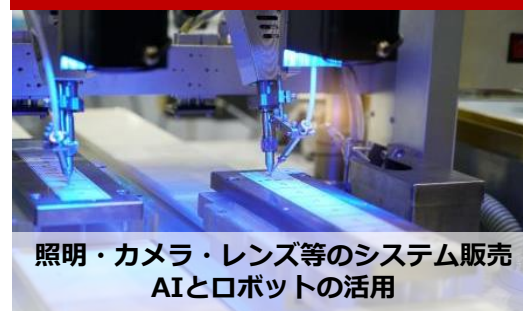


2022年の成果

積極的な開発投資により
IO-Linkラインアップを
拡充

顧客ニーズに応えた
新製品を8シリーズ発売

IA事業（MVL関連）



2022年の成果

大規模なプライベート展示会
「ソリューションEXPO」を
開催

豊富な提案力が高く評価され
多数の引き合いを獲得

経営計画達成に向け成長戦略を推進中

M&A先の成長

IA事業（IPC関連）サンリツオートメーション

これまで注力してきた市場



半導体製造装置

医療機器

2022年の成果

半導体設備投資の拡大で
産業用PCの売上が増加

外部環境リスクの影響を
受けにくい事業領域拡大への
体制を整備

IA事業（MECT関連）ミツテック

今後の成長が期待できる市場



ハイブリッド車・電気自動車

2022年の成果

EV用2次電池製造装置の投資
拡大で、23年度以降継続的に
出荷される大型案件を獲得



M&A先とのシナジー

サンリツオートメーション（IPC）× オプテックス（SS）

国内重要施設向けで遠隔監視カメラシステム導入を推進



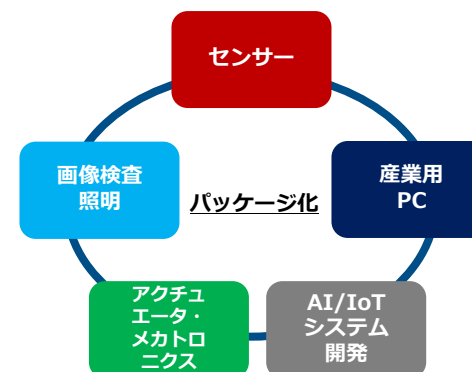
インフラ施設

2022年の成果

AIを活用した自動追尾機能
付き遠隔画像監視システムの
共同開発を開始

ミツテック（MECT）× オプテックス・エフイー（FA）

「トータルソリューションベンダー」として、IA事業でのコト売りを推進



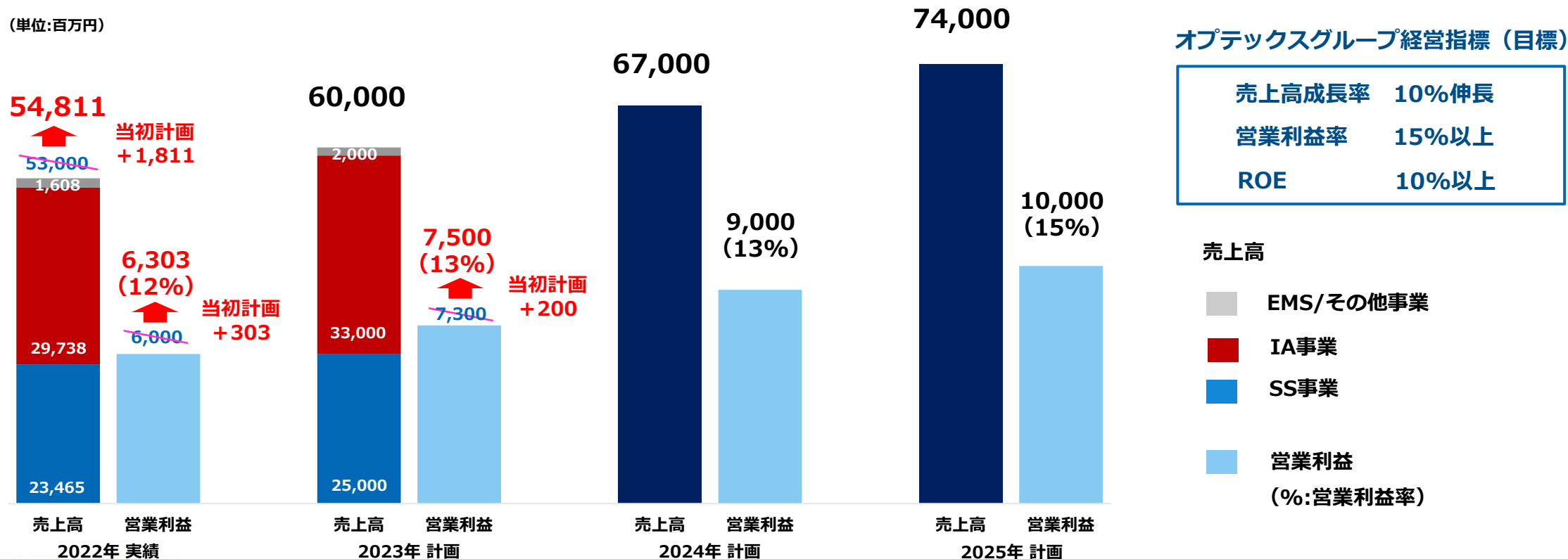
2022年の成果

ロボットを活用した外観検査
ソリューションで連携開始

製品提案力の強化、
技術サポートの拡充

3カ年（2023-25年）の経営計画

- ・ 2022年は、成長戦略の成果により、売上高・営業利益共に計画を上回り着地。
- ・ 2023年は、高収益製品の販売強化を継続し、営業利益の拡大を目指す。
- ・ 各事業の深堀とソリューション販売へのシフトを加速させ、2025年の営業利益100億円を目指す。



1. 2022年12月期決算概要

2. 3カ年（2023-25年）の経営計画

3. TOPIC

代表取締役の異動

事業環境の大きな変化に対応するため、世代交代を図り、より一層の成長・拡大を目指します。

氏名	新役職	現役職
小國 勇	オプテックスグループ ^(株) 取締役会長	オプテックスグループ ^(株) 代表取締役社長兼CEO
中島 達也	オプテックスグループ ^(株) 代表取締役社長 オプテックス・エフエー ^(株) 代表取締役社長（兼任）	オプテックスグループ ^(株) 取締役 オプテックス・エフエー ^(株) 代表取締役社長（兼任）



中島 達也

2023年3月開催の第44回定時株主総会及び取締役会を経て就任予定。

<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	54,811百万円
営業利益	6,303百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 6914
連結従業員数	2,353名

(数値：2022年12月期実績)

オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

オプテックスグループ

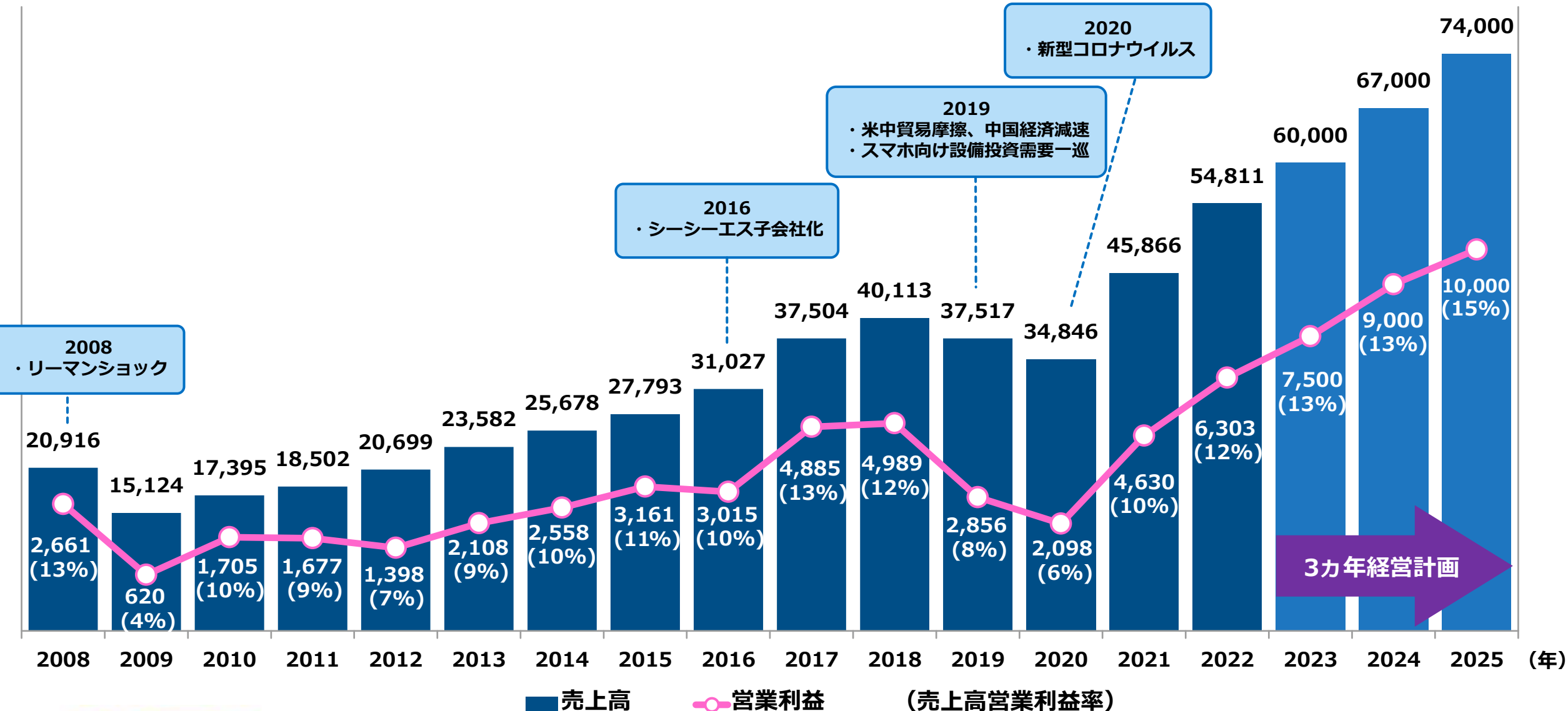
OPTEX

OPTical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)



会社概要_業績推移



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（現JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2020年 サンリツオートメイション株式会社を子会社化
- 2021年 ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像検査用LED照明



会社概要_体制図

SS事業 : Sensing Solution (センシングソリューション) 事業
IA事業 : Industrial Automation (インダストリアルオートメーション) 事業

オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 第一部上場 証券コード : 6914)

オプテックス株式会社



防犯用・自動ドア用等
各種センサーの
開発・販売

SS事業

オプテックス・
エフエー株式会社



ファクトリーオート
メーション用センサーの
開発・販売

シーシーエス株式会社



画像検査用LED照明の
開発・製造・販売

サンリツオート
メイション株式会社



産業用コンピュータの
開発・製造・販売

ミツテック株式会社



ファクトリーオート
メーション用自動化設備
及び画像処理検査装置の
開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・
エムエフジー株式会社



グループ製品の製造・
電子機器受託生産

株式会社スリーエース



各種システム及び
アプリケーション・
デジタルコンテンツ開発

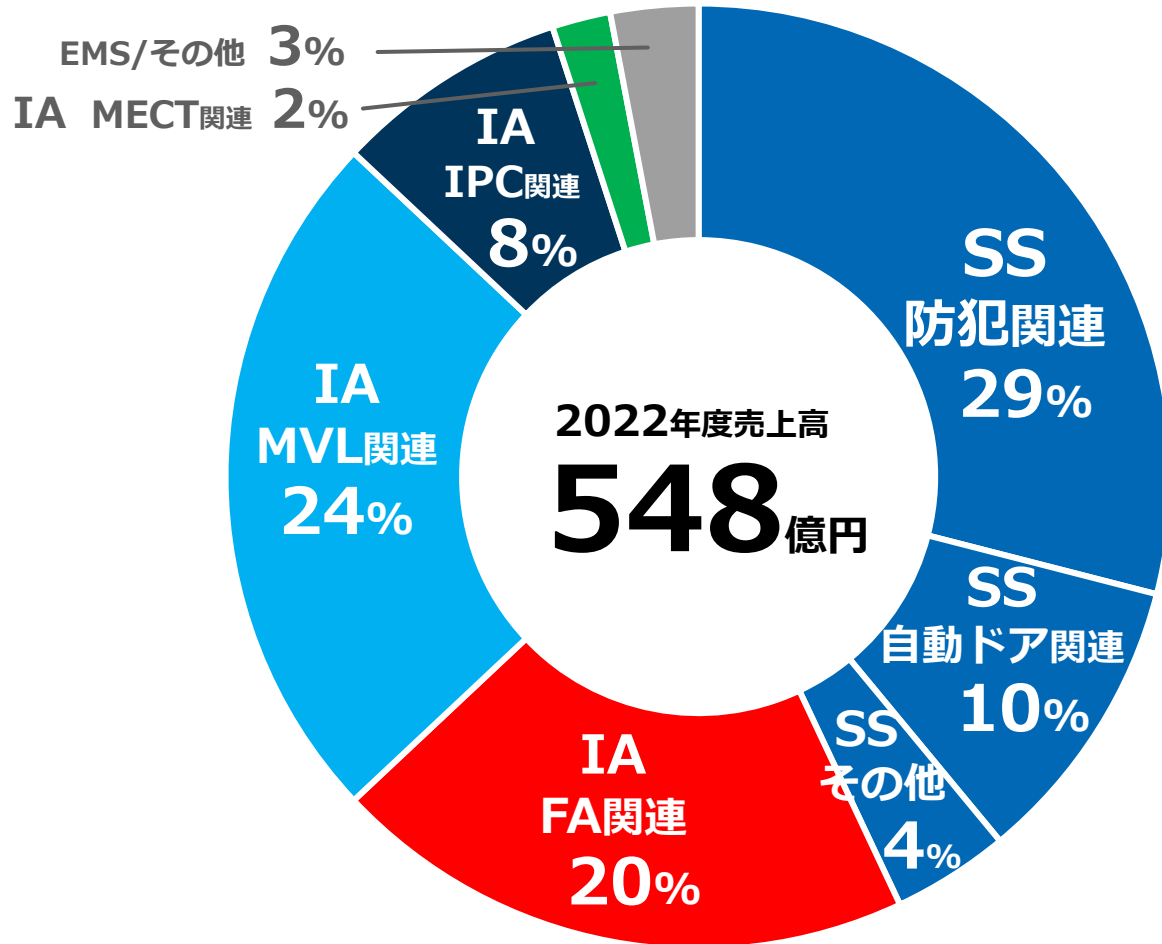
オーパル
オプテックス株式会社



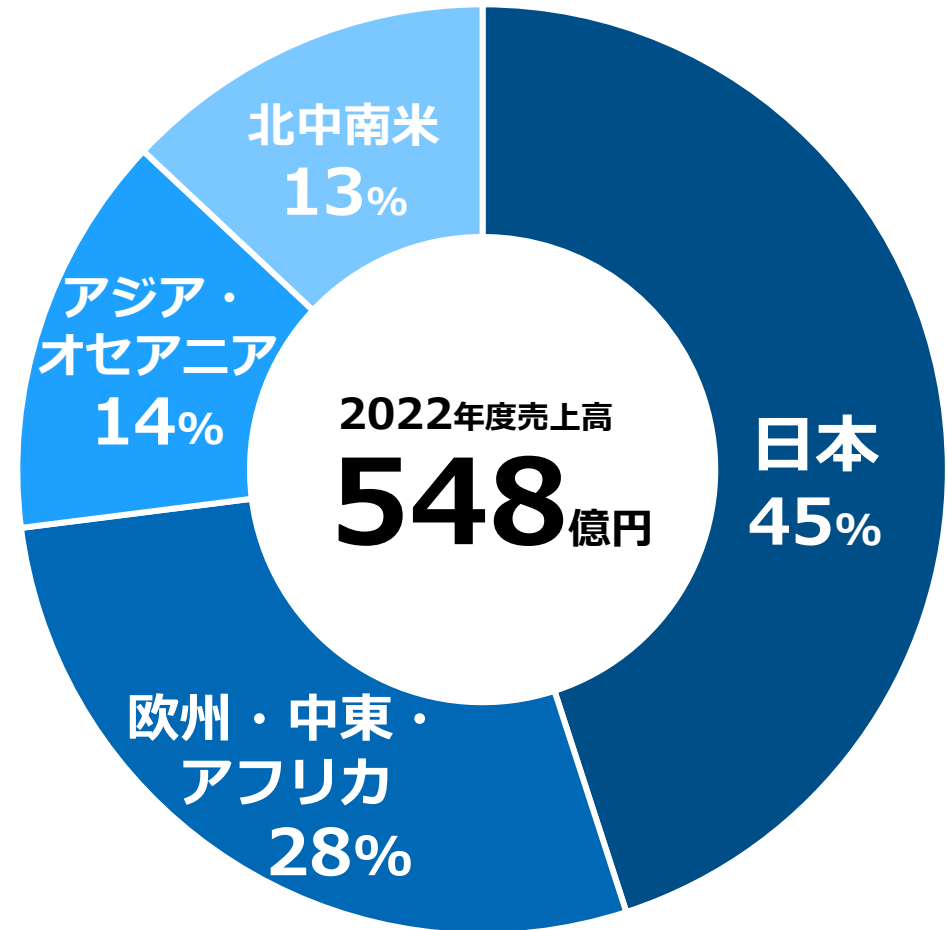
アウトドアアクティビティ
及び環境体験学習の運営

会社概要_売上構成比

事業別



地域別



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



重要施設向けセンサー



カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



シャッター用センサー

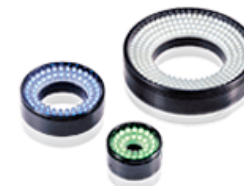
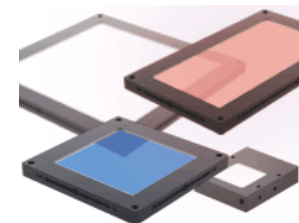


タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明



各種LED照明

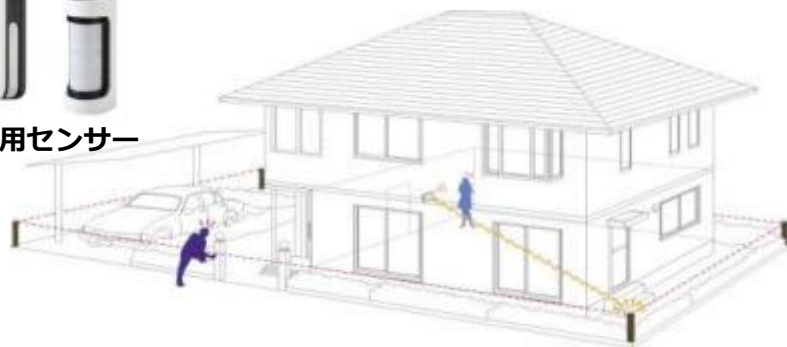
事業概要_SS事業（防犯関連）防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



屋外用センサー



【警備会社】
駆け付けサービス



欧米では警察が駆け付け

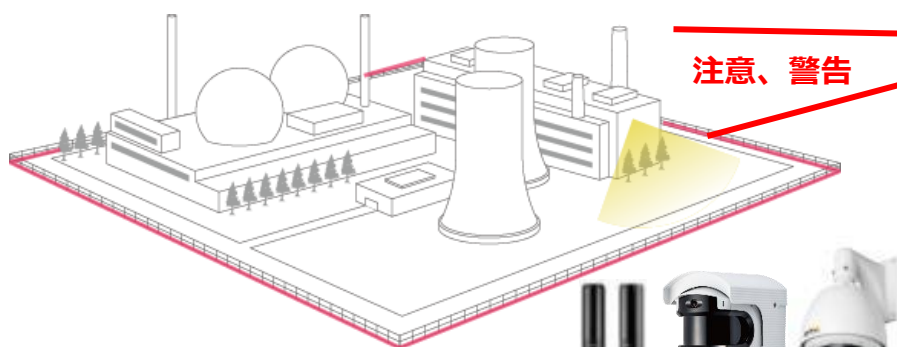
高級住宅（海外）



オフィス



大型重要施設



注意、警告



【警備員室】
画像監視



発電所・石油インフラ施設



空港



屋外用センサーと
監視カメラが連動

事業概要_SS事業（自動ドア関連）自動ドアセンサー

国内シェア50%以上、海外シェア20%

1980年、当時はまだ軍事用途が中心だった赤外線を、自動ドアセンサーに応用しました。



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機



赤外線センサー（頭上）



事業概要_IA事業 (FA関連) 工場用センサー



工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

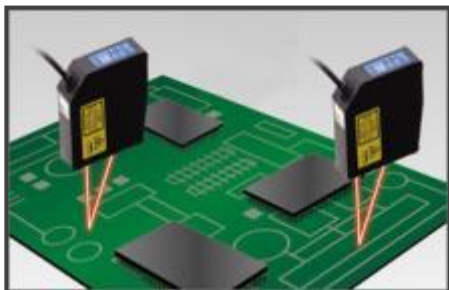
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定

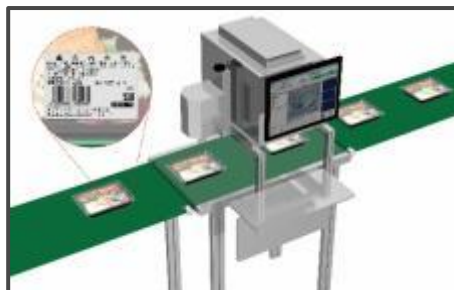


基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け (食品、医薬品、化粧品)



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

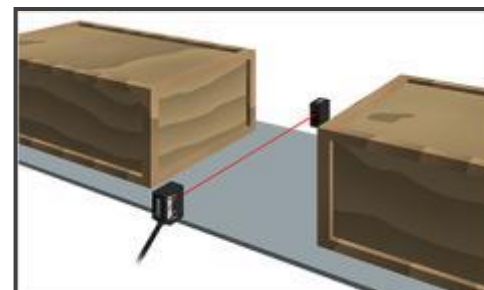


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



自動倉庫ではみ出し検出

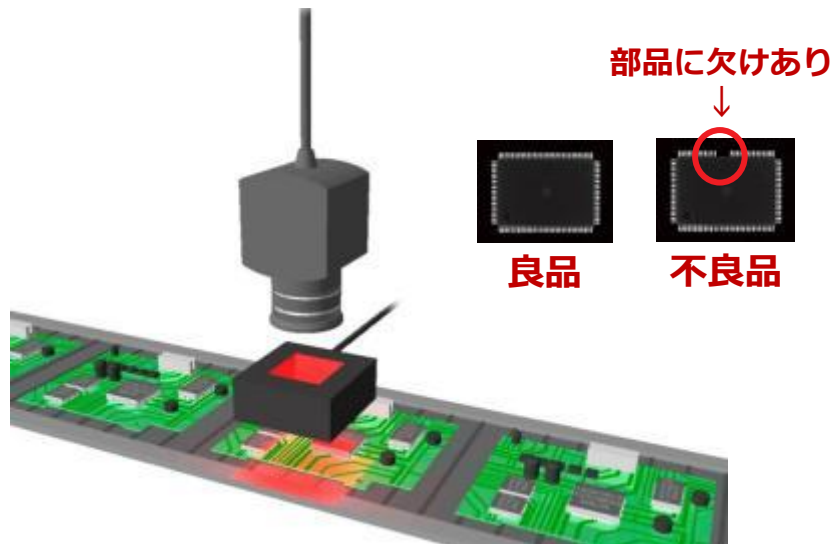
事業概要_IA事業 (MVL関連) 画像検査用LED照明



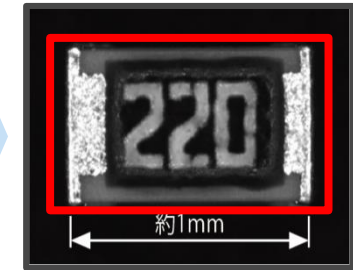
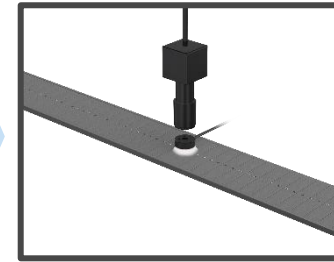
CCS は1993年設立の、LEDを活用した**検査用照明**メーカー

検査用照明とは？ ※

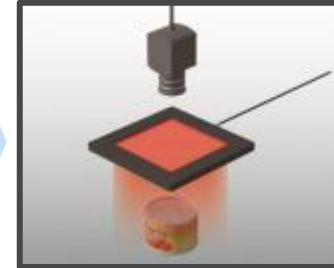
工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



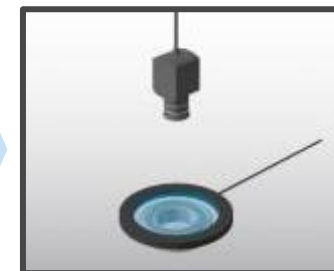
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と言います。

事業概要_IA事業 (IPC関連) 産業用コンピュータ

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

半導体製造装置や医療・通信などの
コンピュータ・プラットフォームを提供



生産・社会インフラシステム

生産現場や社会インフラの
課題を解決するシステムを提供



先進計測・制御システム

ロボットなど、計測・制御用の
先進システム製品を提供



自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等

→ 厳しい要求水準に対応した高品質



設立以来、2次電池製造装置等の自動化装置の開発を手掛ける

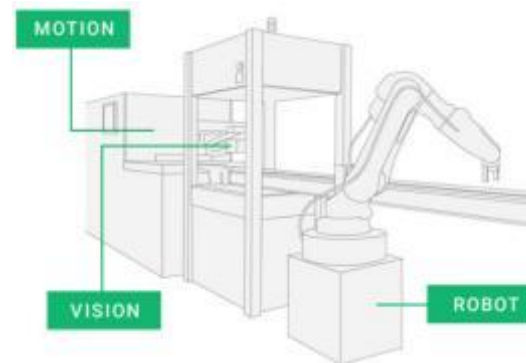
画像処理検査／計測装置

モノを動かす
「Motion技術」

×

モノを視る
「Vision技術」

→ 最適なソリューションを提供



お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築

ESGの取り組み

当社はESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。
ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください ([レポートはこちら](#))。



Environment (環境)

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】

2022年に組成した気候変動対応チームを中心に、TCFDの枠組みに沿った対応を推進。

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】 環境配慮型の製品・ソリューションの普及 拡大に取り組む

自動ドアセンサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



Social (社会)

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス(株)、オプテックス・エフエー(株)の2社が「健康経営優良法人」に認定。



Governance (ガバナンス)

企業統治への取り組み

取締役・監査等委員9名中、3分の1以上の4名の独立社外取締役（弁護士・公認会計士を含む）を選任。 ※2023年3月24日以降



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

<https://www.optexgroup.co.jp/>